

「仕事と生活の調和」の実現を目指して～鹿児島8つのメッセージ・2つの目標

現在、鹿児島の一部の職場は、長時間労働や固定的な就業環境、不安定な雇用状況などにより、家事、育児、介護、趣味などに限りある自分の時間を有効に費やすことができないなど生活の豊かさや生きがいを実感できない状況にある。

また、少子高齢化に伴う労働力不足に対応し、活力ある社会を実現するためには、若年者や女性、高齢者等の多様な人材の活用や一人ひとりの労働生産性の高い働き方が必要になっている。

このような状況を打開するため、トップはリーダーシップを発揮し、「仕事と生活の調和」を経営戦略の一部として捉え、業務や業務分担の見直しといった業務効率化に取り組み、従業員は自ら多様性を持った働き方を確保しつつ、労働生産性向上による利益を労使ともに享受できるよう、労使の合意の下、次の「8つのメッセージ」及び「2つの目標」を提言するものである。

使用者
の役割

労働者
の役割

8つのメッセージ

- 1 働くことの尊さと生活の質を高め自分の時間を持つことの大切さについて考えてみよう。
- 2 誇りを持って仕事に取り組もう。
- 3 家族の団らん、地域活動（ふるさと興しなど。）やご近所との付き合いを大切にしよう。
- 4 「お先に！」と気軽に言える職場にしよう。
- 5 まとまった休暇で日頃からの夢に挑戦してみよう。
- 6 元気で気持ちよく働ける職場にしよう。
- 7 仕事の進め方について大胆に見直そう。
- 8 行き過ぎたサービスや資源のムダ使いは改めてゆこう（CO2の削減にもつながる。）。

2つの目標

- 1 労働者1人平均年次有給休暇の取得率（常用労働者5人以上）
現在：35%→5年後（平成25年度）：50%以上
- 2 次世代育成支援認定マーク（愛称「くるみん」）取得企業数（累計）
現在：4社→5年後（平成25年度）：10社以上